

第13回・第14回 海藻シンポジウム報告書

江ノ島・フィッシャーメンズ・プロジェクト

第13回海藻シンポジウム 2019年12月14日 土曜日

参加者数 大人73人 小人62人 総人数142人



実地体験メニュー 6種目 概略

① 藻場ミニ講義

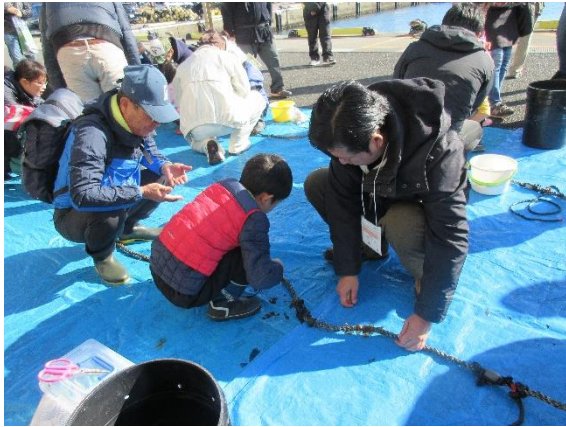
もばじー&わかじーと称した2名の専門家が子供にもわかりやすく動画とテキストで藻場の大切さ・地球温暖化についてのお話を致しました。

今回は大きな台風の前と後の状態変化がテーマでした。7月まではとても好成績で成長していた海藻が台風で全滅してしまった様子を映像で見せる事が出来ました。



② 養殖ワカメの種付け

昨年のアクシデントの反省もあり、今年は種の保管にも気を使い、十分な種を用意致しました。子供達は真剣に種付けを行っていました。



③ 養殖棚までのミニクルージング

南の風が強くなる予報でしたが最初の3組ぐらいまでは、何とか養殖棚まで行くことができました。残り3組は江の島の横まででした。風が強くてふねが揺れても、子供たちは『ジェットコースターみたい』とはしゃいでいました。中々船に乗る事が無い方々は『貴重な体験!』と話されていました。



④ 海の生き物 タッチプール

昨年に引き続き『新江ノ島水族館』に担当して頂いています。本職の方々の説明は素晴らしくタッチプールから離れない子供もいました。一番人気は今年もたこでした。

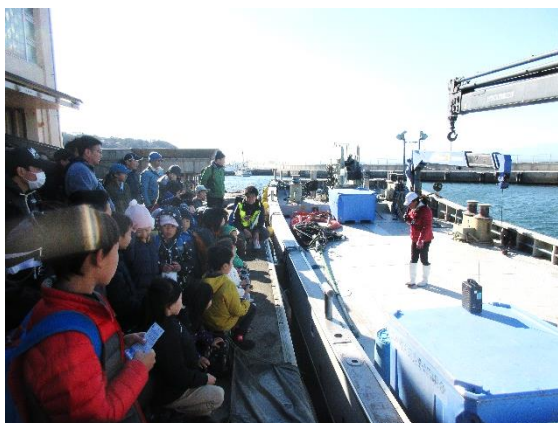


タッチプールの横に、スマホ顕微鏡のコーナーを設けてあります。
小さな器具をスマホに装着すると顕微鏡の様に画像が見えます。
海藻の先端などもとても綺麗に見えるので、子供達も興味津々です。



④ 漁師さんに聞いてみよう

今回は漁協での水揚げの様子動画を見てから、大型定置網船に移動して頂き、定置網船の大型クレーンを動かしたり致しました。風が強くて寒かったのですが、いつもながら、質疑応答は、時間切れになるまで質問が続きました。



⑤ ダイバーズトーク

海底清掃の様子を動画を見て頂き、ダイビング機材に触れて頂きました。
海底清掃も7月まではとても良い状態だったのに、台風後はまたゴミだらけになってしまった様子は動画ならではの説得力の高いものとなりました。



恒例の食事タイムです。お天気は良かったのですが、風が強くなってしまい。そこが残念でした。でもアンケート結果もおいしかったと沢山の声を頂きました。



今回、自衛隊の方々が応援に来て下さりました。自衛隊の『たまちゃん』は子供達に人気でした。今年は、大きな台風がありましたので、その際の救助活動の様子をパネルにして頂きました。



藤沢青年会議所・自衛隊神奈川地方協力本部藤沢募集案内所など新たに協力して頂ける団体が増えました。活動の輪が広がっています。

大型台風で日本中に大きな被害が出ました。もちろん海の中も大きなダメージを受けてしまいました。台風前と台風後、その比較を動画で見せる事が出来ました。

百聞は一見に如かず、参加者も興味深くみていました。

第14回海藻シンポジウム 2020年2月22日 土曜日

参加者数 大人39人 小人34人 総人数71人

想定外の事態が起きました。

新型コロナウイルスにより、イベントの開催判断が難しい状況でした。

自粛方向に舵は向いていましたが、藤沢市は開催中止の話がギリギリまで決定しませんでした。

開催・中止と話しが二転三転。結果、藤沢市との合同開催は中止として

EFPだけの申し込み者のみで開催決定したのは、開催、日前々日の20時でした。

予め、出来る限りの新型コロナウイルス対策をしている事(アルコール・マスク・手洗い場)・野外のイベントである事・規模は縮小開催とする為料金は半額とする事・開催時間を9時30分～13時までの好きな時間に来て頂く事などのお知らせをし、ご納得いただいた方のみ、ご参加くださいと告知致しました。

多少のキャンセルはありましたが、71名のご予約はそのまま全員参加となりました。

開催時間を4時間半として、開会式など一同に人を集める事を辞めたので

皆様、来場時間はバラバラでした。好きな時間に来場して、好きな体験ブースに好きなだけいて頂き、好きな時間に食事をして頂きました。

全員の集合写真はスタッフのみとなりました。



天気予報も南の風が強く、夕方から雨予報でした。

従って、会場を片瀬漁港 荷捌き所内に体験ブースと厨房を設けて

食事ブースをテントで設営、風対策で建物に接近させて、建物から食事ブースに行ける様に配置致しました。強風の為クルージングは中止とさせて頂きました。

スタッフも最小限で開催に前向きな気持ちである方をお願いいたしました。

① 養殖ワカメの刈取り

このような状況の時なのにワカメは大漁でした。

参加者がバラバラに参加なので、個別に丁寧に対応できました。質問も多数でした。



② 海の生き物 タッチプール

『新江ノ島水族館』に担当して頂きました。時間無制限です。1時間以上いる子もいました。

質問もしたい放題です。人気のタコも丁度良いサイズが揃いました。

ヌタうなぎもいました。水族館では絶対に触らせない生物です。

小さな生き物水槽は大人に人気です。わずか3cmのウミウシやタツノオトシゴなどを

まじかに見る事が出来ます。





③ スマホ顕微鏡

12月と同様スマホに器具を装着して、顕微鏡の様に大きな画面で観察できます。魚のエラを見たり、うろこを見たり、ワカメやワカメに付いたワレカラを見たり大人でも夢中で小一時間試していた方もいました。



④ ダイバートーク

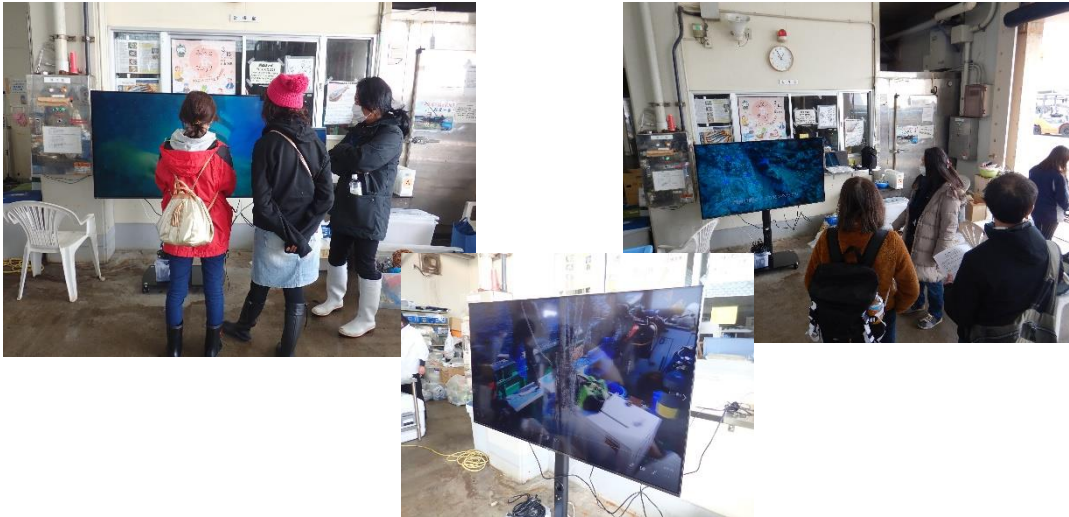
今回は1名のダイバーさんが、機材一式を持ち込んで頂き、マンツーマンで機材を説明したり触ったりしました。



⑤動画ブース

色々な過去の映像も用意して、海底の様子を映像で流していました。

例えば、魚が見たい子には、魚を、ダイバーさんと一緒に海底の藻場保全活動作業を見ている大人や漁協の作業を代表が説明など、このコーナーもマンツーマンでリクエストにお答えしながら対応致しました。



⑤ フォークリフト

子供にとっては、フォークリフトも楽しい体験となりました。

テントの風対策で垂替わりに停車させていたフォークリフトが楽しいアトラクションもどきとなりました。もちろんエンジンはかかっていませんが、それでも男の子は楽しそうでした。



恒例のお食事タイムも規模縮小を考えていましたが、結果準備した品は全て出そう！！と思いカマスのフライ・昆布の佃煮・ジャコパスタ・ひじきご飯・りんごコンポトートカップケーキ小鯨の炭火焼き・ワカメのお味噌汁・全て出しました。もちろんワカメしゃぶしゃぶも用意しました。食事の時間も自由です。お変りも自由です。長い時間お食事して、またタッチプールに戻った子もみられました。



第13回は通常のパターンで無事開催ができましたが、第14回がこの様な事になろうとは全くの想定外でした。開催に踏み切るまで、かなり悩みました。

しかし、前向きなスタッフの後押しと、ご予約頂いたお客様からのキャンセルが少なかった事が開催への決断となりました。ワカメ自体が大漁だった事も一つです。藤沢市は結局、袋詰めワカメだけを取りに来て頂く方法をとりました。開催時刻なっても誰も来ないのではないかとの不安もありましたが、開始時刻になると、ポツポツと来場されました。受付での説明やアルコール消毒、マスクの着用も皆様クレームも無く対応してくれました。そして何より『開催してくれてありがとうございます』と参加者皆様からお声がけ頂きました。アンケート結果にも記載されていました。